

第13回

In vivo実験医学シンポジウム

アクアポリン研究 の最前線

病態生理の理解から
新たな診断・治療法の開発まで

オーガナイザー
慶應義塾大学医学部
安井 正人教授

アクアポリン研究の最前線 ～病態生理の理解から新たな診断・治療法の開発まで～

安井 正人先生 慶應義塾大学医学部 薬理学教室

クライオ電子顕微鏡を用いた構造創薬の現状

藤吉 好則先生 東京医科歯科大学高等研究院 卓越研究部門

分子シミュレーションによるアクアポリンの分子透過メカニズムの解明

山本 詠士先生 慶應義塾大学理工学部 システムデザイン工学科

アクアポリンの進化と細胞内局在：小胞体とエクソゾーム

石橋 賢一先生 明治薬科大学 病態生理研究室

アクアポリン4と視神経脊髄炎 (Aquaporin 4 and Neuromyelitis Optica)

藤原 一男先生 福島県立医科大学医学部 多発性硬化症治療学講座
脳神経疾患研究所 多発性硬化症・視神経脊髄炎センター

神経疾患とアクアポリン4 ～アルツハイマー病を中心として～

阿部 陽一郎先生 慶應義塾大学医学部 薬理学教室

炎症性疾患におけるアクアポリン3の役割

竹馬 真理子先生 慶應義塾大学医学部 薬理学教室

2019 **11/27** 水

13:00～17:35 シンポジウム

18:00～19:30 懇親会

会場 学士会館210号室 (千代田区神田錦町3-28)

参加費 無料 (懇親会は参加費1,000円) 定員 150名

事前
申込制

▶▶▶ 申込 ▶▶▶

<https://www.ciea.or.jp/event/invivo/index.html>



主催

公益財団法人実験動物中央研究所 In vivo実験医学シンポジウム事務局
〒210-0821 神奈川県川崎市川崎区殿町3-25-12 ☎044-201-8516 ✉in-vivo@ciea.or.jp